

農業生産技術管理学会 令和4年度大会 プログラム

会 期 令和4年10月15日（土）～16日（日）
開催方法 Zoomによるオンライン
編集委員会，評議員会，シンポジウム，総会，一般講演

大会日程

1日目：令和4年10月15日（土）

編集委員会 14:00～15:00（ホスト：鳥取大学）

評議員会 15:15～16:15（ホスト：島根大学）

2日目：令和4年10月16日（日）

シンポジウム 10:00～11:50（ホスト：日本大学）

テーマ『ポストコロナ時代を生き抜くための農業生産技術』

司会 水田 大輝（日本大学生物資源科学部）

- ① 「ポストコロナ時代におけるスマート農業の可能性」
梅田 大樹（日本大学生物資源科学部 准教授）
- ② 「ポストコロナ時代における花き販売戦略」
石川 徹（株式会社フラワーオークションジャパン切花部）
- ③ 「果樹ジョイント栽培の新たな展開」
関 達哉（神奈川県農業技術センター生産技術部 主任研究員）

総会 12:00～12:30（ホスト：島根大学）

研究発表会 13:30～17:00（ホスト：日本大学）
（プログラムは次ページ以降に掲載）

【研究発表会プログラム】

※発表 12 分・質疑応答 3 分

13 : 30 大会運営委員長あいさつ

13 : 40~14 : 40 座長 : 小泉明嗣 (神奈川農技セ)

1. 複数台木苗の台木数の違いが水ナスの初期生育に及ぼす影響
○山崎基嘉・アクリッシュ穂波 (大阪環農水研)
2. 市販のグロスメーターの利用による水ナス果実のつやなし程度の評価
○山崎基嘉 (大阪環農水研)
3. 苗齢および日長の違いがニラの抽だいおよび生育に及ぼす影響
○ 和田絵理子¹・西村安代²
(¹高知県農業技術センター・²高知大学農林海洋科学部)
4. 秋冬ハウレンソウトンネル栽培における紫外線除去フィルムおよび光質変換資材が収量に及ぼす影響
○飛田有支・小澤佳輝 (玉川大学農学部)

14 : 45~15 : 45 座長 : 北浦健生 (JA さがみ)

5. リン追肥時期がコムギのリン吸収量および収量に及ぼす影響
○ 垣内仁 (東京農業大学農学部農学科)
6. ダイズの生産性向上に対する根粒形成調節遺伝子の有用性の検討
○城惣吉¹・新屋晴己²・伊藤蒼人²・児島未咲²
(¹島根大学術院農・²島根大生資)
7. 四季成り性イチゴ栽培におけるシソ科大葉及び菌根菌によるバイオスティミュラントの検討
○永田薫¹・松原陽一²・寺井信晴³・竹下靖雄⁴・湖口正裕⁴・山村友宏⁵
(¹岐阜大院自然科学・²岐阜大応生・³JA掛川市・⁴中部電力(株)・⁵(有)F.T.Y)

8. ニホンナシの花蜜流蜜花粉発芽から見たポリネーター利用の可能性

○浅田真一¹・森田綾¹・光畑雅宏²

(¹玉川大農・²アリストライフサイエンス)

15:50~16:50 座長：上西愛子（神奈川農技セ）

9. 土壌から分離した植物病原菌類・細菌類に対し拮抗作用を有する *Bacillus* 属細菌の抗菌活性と病害防除効果

乙部基¹・山本裕一¹・正田誠²・○北宜裕¹ (¹日大生物資源・²東工大)

10. メロン及びキュウリにおけるスイカ緑斑モザイクウイルスによる種子汚染の実態解明

○前田七海¹・久保田健嗣²・望月知史³・杉原弘貢⁴・桑原隼也⁴・山口武視¹・児玉基一朗¹・木戸一孝¹

(¹鳥取大農・²農研機構植防研・³大阪公大農・⁴鳥取大技術)

11. 植物に耐塩性と病害抵抗性を誘導する蛍光性 *Pseudomonas* 属細菌の作用機構

—青枯病防除機構の要因を中心に—

○中原浩貴^{1,2}・松添直隆³・谷口武士¹・安萍¹

(¹鳥取大乾燥地研・²JSPS 特別研究員 PD・³熊本県立大環境共生)

12. サツマイモにおける非破壊測定パラメータと収量との関係に関する研究

○門脇正行¹・松本かなで²・梅原理沙²・多田羅豊²・畝川裕匡³・長友萌恵³

(¹島根大学術院農・²島根大生物資源・³島根大大学院自然)

16:55 閉 会